

## 東京国際空港（羽田空港）の新しい滑走路（D滑走路） ～埋立部 管中混合固化処理土の打設が3船団体制で本格化～

～ 記者発表資料 ～

24時間365日の昼夜連続施工で進められている東京国際空港(羽田空港)の新しい滑走路(D滑走路)の埋立部において、11月10日(月)、浚渫土を有効活用した管中混合固化処理土の打設が3船団体制で本格化しました。

管中混合固化処理土は、軟弱な浚渫粘性土(原泥)を空気圧送設備にて圧送する際に固化材(セメント)を添加し、圧送管内で混練することで、軽量で強度(約300kN/m<sup>2</sup>)が大きい埋立材として利用したものです。本工事では、埋立部の外周護岸部に作用する土圧の低減および護岸背面の沈下の抑制を図るため、外周護岸背後と中仕切り堤の間に沖側護岸前面の床掘土及び東京港第一航路移設により発生する浚渫土を原泥として管中混合固化処理土の打設を行います(別添参照)。

管中混合固化処理土の打設は、空気圧送船、固化材供給船、打設船の3隻から構成する船団により実施します。

計画打設ボリューム約520万m<sup>3</sup>を大型空気圧送船の利用し昼夜間連続施工による大量急速施工(1船団当り約9,800m<sup>3</sup>/日の打設)で約14ヶ月の工程で工事を進めます。

今後は、中仕切り堤の進捗と原泥が発生する工事との調整を密にして、管中混合固化処理土の投入を最速化させるとともに、中仕切り堤内側の山砂等の投入による埋立を行い早期の陸地化を目指して工事を進めていきます。

平成20年11月14日(金)

国土交通省関東地方整備局 東京空港整備事務所

### 同時発表記者クラブ

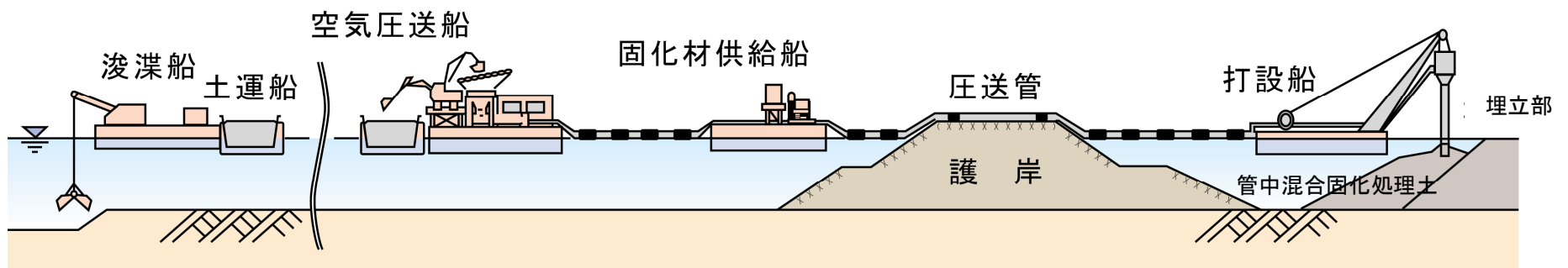
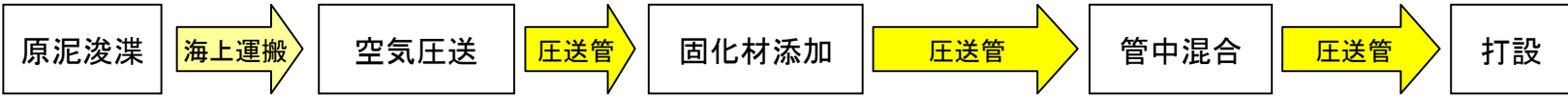
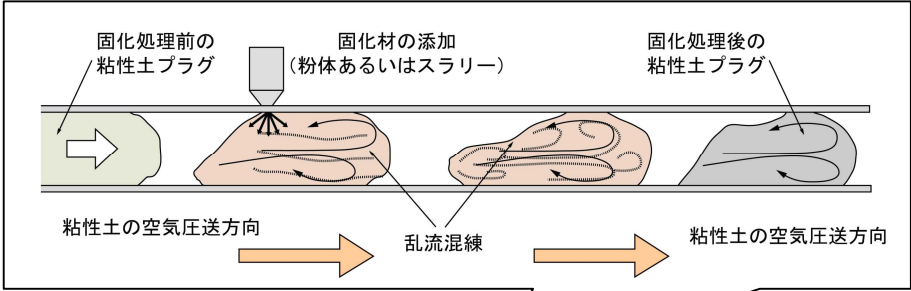
竹芝記者クラブ	横浜海事記者クラブ	神奈川建設記者会
都庁記者クラブ	千葉県政記者クラブ	東京航空記者会

### 問い合わせ先

国土交通省 関東地方整備局東京空港整備事務所 D滑走路プロジェクト推進室  
担当 こばやし きみね むらおか 小林・貴船・村岡  
住所 東京都大田区羽田空港3-5-7 メンテナンスセンターアネックス 5階  
電話 03-5756-6577  
HP <http://www.pa.ktr.mlit.go.jp/haneda/>



# 管中混合固化処理土 施工フローイメージ



# 管中混合固化処理土の船団

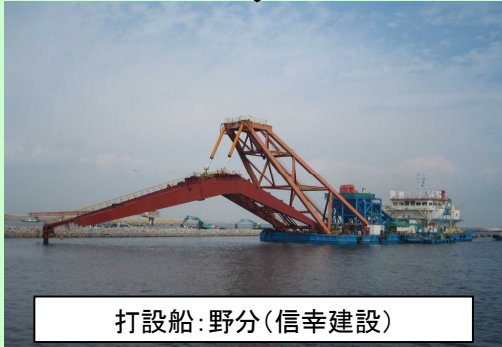
船団1



圧送船:TOTRA (東亜建設工業)



固化材供給船:CP-3600(小島組)



打設船:野分(信幸建設)

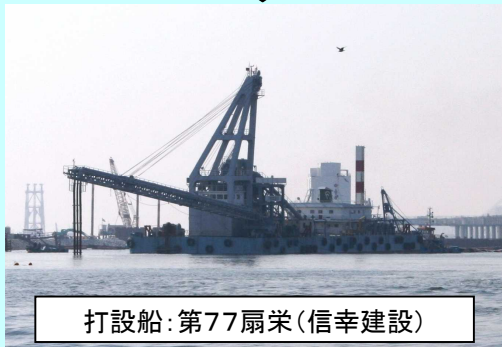
船団2



圧送船:風神丸(りんかい日産建設)



固化材供給船:龍田丸(りんかい日産建設)



打設船:第77扇栄(信幸建設)

船団3



圧送船:博洋(五洋建設)



固化材供給船:SEAGULL(五洋建設)



打設船:関翔(関門港湾建設)